

6月3日年少ぱんだ組担当者名（後迫美咲）

観点「主体的な学び」

「飛ぶかえるをつくろう」	園児の姿（写真等）	エピソード
 今日は、こんなふう に飛ぶかえるさん を作ろう   先生、できまし た。かっこいい でしょ。  飛ばしっこしよ う。		【創出】（導入） 先生がつくってきた「かえるさん」をみせて、「今日は、かえるさんを作って遊びましょう」と課題を明確にしました。そして、ふたつの紙カップを合わせて離すと一方の紙カップが高く飛んでいきました。（子どもたちの驚きと歓声） 「今日は、こうして飛ぶかえるさんを作ります」という説明に子どもたちはびっくり！子どもたちの制作意欲と見通しができました。 【没頭】《主体的学び》（展開Ⅰ） 子どもたちは、かえるの色の画用紙を選択して制作にとりかかりました。子どもたちは、見通しがはっきりとしたために制作に没頭していました。かえるの足の貼付けは、子どもの判断にまかせました。制作に迷っている子どもに対しては個別に支援していました。 【没頭】《主体的学び》（展開Ⅱ） 早く完成した子どもたちは、主体的に飛ばしっこを始めていました。その後、みんなで飛ばしっこをしました。子どもたちは、5・4・3・2・1と自らカウントダウンし合い、飛ばしっこを繰り返していました。 【振り返り】《次回への意欲付》（終末） 次回は、年中きりん組と一緒に遊ぼう、新しく作ろうねと意欲付をしました。
観点「(○)主体的学び ()対話的学び ()深い学び」 観点に○をつけてください。		
[工夫等よかった点]		「もう少し改善したい点」
○ 主体的学びは、導入が大切である。子どもたちに二つの紙コップを合わせると一方が飛ぶという事象提示及び制作手順説明により、子どもたちに見通しが立ち、意欲が高まった。 ○ かえるづくりから飛ばしっこと展開していったことで意欲の持続化が図られた。		○ 子どもたちからピンクのかえるを作りたいとの声があったので、色画用紙の種類を多く準備すると良かったのでは思う。